

THE WESTMINSTER ROPPONGI

東京都港区

ランドスケープ＝株式会社 稲治造園工務所
写真＝BAUHAUS NEO、グロブナー リミテッド*

THE WESTMINSTER ROPPONGI

Minato-ku, Tokyo

Landscape by Inaji Landscape & Construction Co., Ltd.
Photos by BAUHAUS NEO, Grosvenor Limited.*





「京の都」より「武家のまち」に功興入りされた“ギオンシダレザクラ”
と、地球の生い立ちと共に誕れ、今、目覚めた“石のモニュメント”
との融合は、この六本木の地に雅やかな空間を演出している



左・右／改修前*



現代の石庭をイメージした庭、又、右手前にモミジを添える事により、空間の広がり演出している

「六本木」の由来は“六本の松の木”にあると言われている。

元々江戸時代に於いてはその大半が武家地であり、青木家・一柳家・上杉家・片桐家・朽木家・高木家の六家に松の大木が植わっていた事に由来する。

近年では繁華街のイメージが強いが、各国の大使館や高級マンション「毛利庭園」などの歴史に残された名勝と多角的な魅力あふれるエリアである。

これらの地域環境を踏まえ、この作品は既存マンション(集合住宅)のリノベーションを行い、付加価値を高め、英国的なしっとり落ち着いたラグジュアリーな香りを漂わせる事をコンセプトとしプランニングを行っている。

設計に当たっては、エントランス、ロビー、そして全面のガラスを通して見る“庭の景”を建物内外の概念を打破し、大きく魅せる事に重点を置いている。

庭は「現代の石庭」をイメージしたものであり、全面石張りではあるが、建物内部のロビーと同じ高さ同じ部材を使用する事により、外部空間と内部空間との一体化を図り、庭の一部分がまるでロビーで有るかのような設えを施している。

石のモニュメント—和泉正敏

石は計り知れないエネルギーを持ち、“地球創世記に形成された物を割る事により初めて目覚める。”と言われている。この石の声を聴き、手を加える事により和泉正敏の作品が完成する。本作品は1つの石を2つに割り建物の内外に設え、一体感を持ち、尚且つ遠近感を演出している。

ギオンシダレザクラ—佐野藤右衛門

「本作品のメインツリーはギオンシダレザクラに因って造られている。」と言っても過言ではない。佐野氏の手に因って育て上げられ古都京都から移されたギオンシダレザクラは、何と言っても雄大で素晴らしいものとなっており、春爛漫の様は人々の心を和らげ、ひと時の安らぎを与えるものとなっている。

この作品を完成するに当たり、グロブナリーリミテッド駐日代表マネージングディレクター廣井康士郎氏を始め、プロジェクトマネージャー松本豊氏のご理解を頂きこの仕事に携われた事、又、和泉正敏氏及び、佐野藤右衛門氏両氏に多大なるご尽力を頂き作品が出来上がった事をここに深く感謝申し上げます。

文＝林 義信(株稲治造園工務所理事)

The name of the city “Roppongi”, which literally means “six trees”, is said to have come from “six pine trees” that had been there in the era of Samurai, Edo period. In recent years, the area has a strong image of bustling shopping and entertainment district but in reality it is a city of diversity; a fascinating and picturesque area where many embassies and luxurious condos are located as well as historic sites such as “Mouri Garden”.

Taking into account the regional environment, an existing apartment has been renovated and turned into luxurious condos with our very British, relaxing and artistic garden and landscape. With regard to the design, we put emphasis on the concept of “scenery of garden” that can be seen from the lobby as well as the entrance hall through full height glazing.

This garden has been created with “modern stone garden” in mind. By utilizing the same height and stone material used in the lobby, we have created an atmosphere as if the garden is part of the lobby; integration of interior and exterior space.

Stone Monument — by Masatoshi Izumi

Stone itself has immeasurable energy in it. It “wakes up” by being broken as the Earth was first created. Mr. Izumi listens to stone’s inner “voice”, works on it and creates his art. Here, one stone was broken into two pieces and one is placed outside and the other is inside of the building. By doing so gives a feeling of integration of interior and exterior space and also a sense of perspective.

Gion Sidarezakura (Weeping cherry tree) — by Touemon Sano

It may be no exaggeration to say that this work’s main tree is Gion Sidarezakura. The tree is magnificent and splendid which was nurtured and grown in ancient capital Kyoto by Mr. Sano and replanted here. When the cherry blossoms are in full bloom, they will provide peace of mind and soothe the souls of residents and visitors alike.

I wish to deeply thank Mr. Koshiro Hiroi, Managing Director and Japan Representative of Grosvenor Limited and Mr. Yutaka Matsumoto, Project Director of Grosvenor Limited for their understanding and the opportunity to be part of this project as well as Mr. Masatoshi Izumi and Mr. Touemon Sano for their hard work and tremendous effort to create these works of art.

Text by Yoshinobu Hayashi
(Director, Inaji Landscape & Construction)



石のアトリエにて、芽生えたばかりの作品を確認*



和泉正敏 (いずみ まさとし)

1938年、香川県高松市牟礼町生まれ。伝統的な石彫作品の制作を代々の生業としてきた家系に生まれる。1953年、石の仕事を始め、石を割ること、ノミ、磨きによる加工を続ける。

1964年、建築、庭などの石による可能性を求め「石のアトリエ」を設立。同年、イサム・ノグチと出会い、現代的な石彫創作の道を歩み、以後25年間イサム・ノグチの制作パートナーとして協力。また、現代建築家とのコラボ、彫刻、庭の制作も手掛ける。石のアトリエ主宰、公益財団法人イサム・ノグチ日本財団理事長。



撮影＝濱田拓末



*

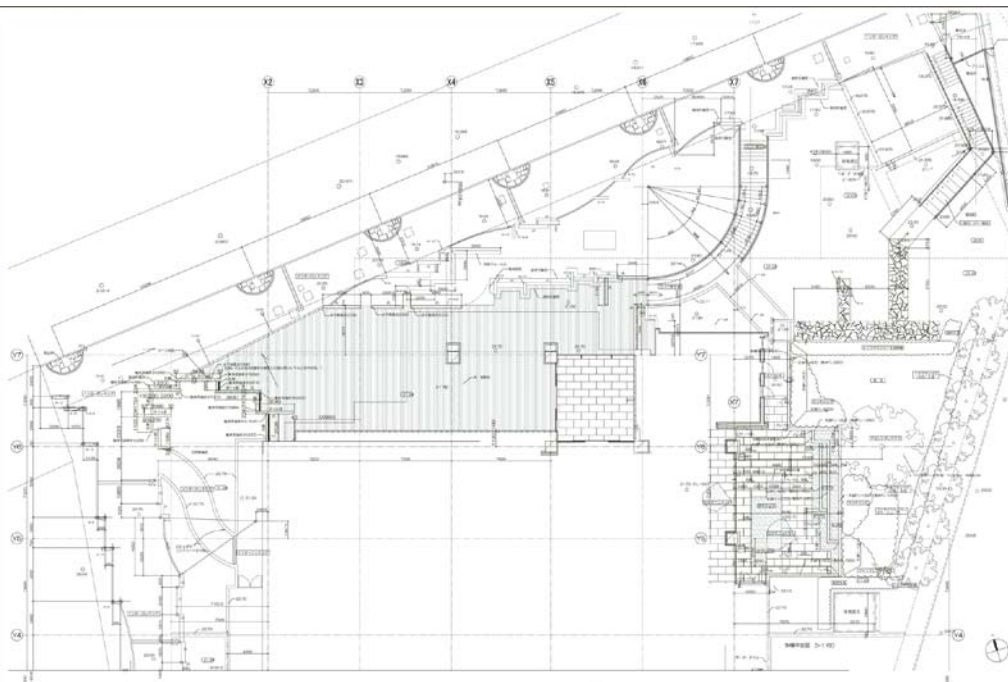


*

佐野藤右衛門 (さの とうえもん)

佐野 藤右衛門 (さの とうえもん、佐野 藤右衛門) は、庭師の名跡。藤右衛門は、天保3年(1832年)より代々、仁和寺御室御所の造園を担ってきた。

祖父である第14代藤右衛門が始めた日本全国のサクラの保存活動を継承し、「桜守」としても知られる。



THE WESTMINSTER ROPPONGI

所在地	東京都港区六本木 6-16-11
用途	集合住宅
事業主	グロブナー リミテッド (GOP 1)
デザイン	建物全体 / paul davis + partners、 外構植栽 / 稲治造園工務所 (林 義信)
実施設計	稲治造園工務所 (白子健太郎)
施工	稲治造園工務所 東京支店 (濱田拓末) 石彫 / 和泉正敏、樹木 / 染谷植物園、 植栽工事 / フォレストキング
仕様	植栽 / アセビ、アベリア、イロハモミジ、ギオンシダレザ クラ、シャクナゲ、シラカシ、タマリユウ、トキワマンサク、 トクサ、ナワシログミ、ヒイラギモクセイ、フィリアオキ、 フィリフェラオーレア、ワイセイサルズベリサマーシリーズ